

# 検査治具メーカーへ脱皮

**田島軽金属（羽生市）**

## 鍛造…将来のアルミ合金リサイクルを 前提とした自動車外装パネル用アルミ铸件

自動車用外装パネルの精度検査に使われる検査治具（検査）を、铸造手法を使ったアルミ铸件製にすることで軽量化とリサイクル化を実現。自動車メーカーから直接受注できるようになり、新たな市場参入を狙っている。

これまで国内の検査は鋼材や樹脂が使われているため、新車種投入やモデル変更のたびに不要となり産業廃棄物として処分されていた。欧州などでは既にアルミ铸件製を採用している自動車メーカーが多いが、国内ではメーカーの仕様に応じて金型製造会社が設計や組立を手配する取引流

通だったため、市場参入が困難と思われていた。

従来は検査メーカーへの素材供給だけだったが、関係会社の協力を得て設備と人材を生かし、アルミ铸件製検査具の設計から铸造機械加工、組立、完成まで



リサイクル化を実現したアルミ铸件製の検査治具

の全工程を独自に一括管理できる体制を整備。従来品よりも約半分ほど軽量化し、材料費や工程を減らすことで納期短縮を進め、約30%の製造コストの削減を図ることができた。また、一部の付属品を外すだけでアルミ材質はほぼ100%リサイクルできるため、注目度も高い。

直接交渉ができるため、設計の自由度も拡大。既に国内自動車メーカー2社との取引が実現している。経営方針として4年前から「検査治具メーカーになる」を宣言。足掛け6年をかけた変革に取り組み、自社の方向性だけでなく、国内の铸造業界の未来をも見据えたりサイクルを目標している。

### 【株式会社田島軽金属】

本社は羽生市藤井上組城沼1375。田島正明代表取締役社長。1968年に铸件のまち川口市で創業。以来、一貫して砂型铸造によるアルミ铸件を製造している。大型アルミ铸件では業界トップクラスの技術・技能を有する。2009年には埼玉県「彩の国工場」に指定され、08年には中小企業庁「ものづくり300社」の認定も受けている。